

東日本大震災

名古屋って、あったかくて
いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

令和元年9月25日発行 (第112号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)
FAX:052-917-0702
Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp



8月末から9月に入り、台風が次々と日本列島を襲っています。被害も多く出ています。被災者の方にはお見舞い申し上げます。今回、千葉県などで長期に渡るライフラインの寸断が大きな問題になっていますが、皆さん、名古屋で防災の備えはしていますか？ もう一度、非常持ち出し袋の中を確認してみませんか？

伊勢湾台風から60年

昭和34年(1959年)9月26日に、台風15号は、超大型のまま東海地方の西を北上したため、愛知県では、高潮・暴風・大雨等により、他に類をみない大災害となりました。特に死者は台風被害としては未曾有の多さとなり、住宅被害も莫大なものでした。

この地域では、この台風の被害を教訓に防災対策を進めてきていますが、あの日を忘れない、次世代に引き継いでいきたいということで、伊勢湾台風から節目の60年となる今年、様々な企画が行われています。多くの事業が、既に終わっていますが、まだこれから行われる事業もあります。この地域で起こった災害についても知っておいていただけると良いかと思しますので、是非参加してみてください。

名古屋市ホームページ(伊勢湾台風60年事業)

<http://city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000117387.html>



なお、今後の大きな防災イベントとしては、「ぼうさいこくたい 2019@名古屋」が、10月19日(土)、20日(日)にささしまライブエリアで行われます。このイベントは、国内最大級の総合防災イベントで、第4回目となる今年、名古屋市で開催するのは、南海トラフ地震の発生が予測される地域であること、災害対策基本法策定のきっかけとなった伊勢湾台風から60年であることなどが理由だそうです。このイベントには、名古屋の災害ボランティア始め、多くの団体が参加します。こちらも、是非、ご参加ください。

ぼうさいこくたい 2019

<http://bosai-kokutai.jp/>

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:令和元年10月8日、11月5日・19日
全て火曜日 10時15分~12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室
(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ
材料費:1回500円~(実費相当)

被災者支援ボランティア
センターまで事前にお申し込みください。

寺子屋 NIT!



名工大の現役大学生による学習支援

日時:令和元年10月25日(金)

18時00分~(1時間半程度) 正門前集合

会場:名古屋工業大学

(昭和区御器所町、最寄り駅:鶴舞)

名工大ボランティア部アドレス:

nit.vpr@gmail.com

内容:学校の宿題やドリル、テスト範囲の勉強など、筆記用具は各自準備